

# 補助金等調書

(2-1)

番号	31	担当課名	教育部 生涯学習課	補助開始年度	平成8年度		
補助金等の名称	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業補助金						
交付要綱等の名称	印西市社会教育関係補助金交付要綱						
	終了年限の有無 (無・有 (平成31年度廃止予定))						
要綱に規定する交付対象者	市内各中学校区において青少年の健全育成環境の向上を目指し、関係機関及び団体代表者並びに学校関係者等で組織される地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会。						
団体の運営に関して補助金を交付している場合	団体名 (複数ある場合、団体ごとに別葉とする。)		設立年月日	構成人数			
	市内各中学校区地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会		平成8年4月1日				
	市から補助を受けていない市内類似団体の有無 (有・無) 有の場合は、類似団体数 ( )						
	市の施策に対する貢献内容 (当該団体への補助金等交付年数も記載してください。) 学校・家庭・地域がともに連携し、地域社会の発展を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に貢献している。 交付年数21年。						
助成団体等の状況	区分		平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度予算額		
	歳入	市補助金		300,000	300000	300000	
		内訳	国庫補助金				
			県補助金				
			その他				
			一般財源		300,000	300,000	300,000
		会費					
		事業収入					
		その他					
		合計		300,000	300,000	300,000	
	歳出	人件費					
		事務費					
		事業費		300,000	300,000	300,000	
		その他					
合計		300,000	300,000	300,000			
翌年度繰越金							
補助制度内容 (下部組織等の配分も明記)		1 国補助 ・ 2 県補助 ・ ③ 単独 ・ 4 市単独上乗せ					
		補助金対象経費の額。ただし、1学校あたり8万円を限度とし、予算の範囲内において配分する。 補助対象経費：報償費、旅費、消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱費、賄財費、通信運搬費、保険料、使用料及び賃借料					

補助制度の 目的、効果、 公益性	目的及び効果について出来る限り詳細に記入してください。(別紙可)
	① 補助金等を交付する目的を記載してください。(市の上位計画等の施策のどの項目に当てはまるのか。その施策を遂行する上で何故補助金等として交付する必要があるのか。当該補助金等の重要性(必要性)についても併せて記載してください。)
	青少年健全育成推進施策の一環として、各中学校区さわやかコミュニティ地域推進委員会の協力を得て全市域を対象として行う啓発活動や市内各中学校区単位で行う実践活動を並行して進め、さわやかコミュニティづくりと生活環境の整備を進めることを目的とする。 また、印西市総合計画、印西市教育振興基本計画のリーディング施策に位置づけている。
	② 平成29年度予算計上の積算根拠を記載してください。(平成30年度からの補助金の場合は平成30年度予算の積算根拠を記入してください。)
	6中学校区 × 5万円 = 300,000円
	③ 平成29年度の実績を記載してください(実績がない場合は、実績なしと記入してください。)
	6中学校区 × 5万円 = 300,000円
④ 補助効果をできるだけ詳細に記載してください。数値化できるものは、数値化してください。	
家庭・学校・地域がそれぞれの役割を再確認し、学校と家庭との連携・協力、家庭と地域との相互支援、学校と地域との連携・融合が推し進められ、地域の特性を踏まえた具体的な活動を計画・実践していく中で、子どもたちに生きる力と夢を育んで行くことを目指している。	
⑤ 補助金交付の終期の目途がある場合は記載してください。(特に固定化された特定団体に対しての財政的自立に向けての終期設定や政策的事業に対しての終期目安を記載してください。終期到来により継続した場合は、その理由を記載してください。また、終期設定していない場合についても、その理由を記載してください。)	
平成31年度廃止予定	
⑥ 過去に補助率、補助事業の内容等、補助金等の見直しを行ったことがある場合は、その内容を記載してください。また、当該補助金等の今後のあり方(方向性)についても記載してください。	
平成22年度の合併により、限度額を5万円から8万円に見直し、「予算の範囲内において配分する」を追加。	
⑦ 当該補助金等の公共性・公益性について記載してください。(受益者が特定の者に偏らず、広く市民にいきわたるものであり、また、不特定多数の者の利益の増進に付与すること補助金等であるか。当該補助金等の交付の性質を記載してください。)	
市民の教育、文化、スポーツ振興に寄与するもの	
地域コミュニティや青少年健全育成に直接的にも間接的にもかかわる関係団体や関係者がかかわる事業であり、公益性が高いものである。	
担当課の判定	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 現状維持で継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止
判定の理由	印西市総合計画、第2次基本計画、新たにH30年度から実施する教育振興基本計画においても、リーディング施策①循環型生涯学習のための基盤づくりの主な取り組みとして掲げているため、拡大して継続。



近隣市類似補助金の状況

補助金名 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業補助金

	補助率(定額補助の場合はその額)	補助上限額
成田市	なし	
佐倉市	なし	
四街道市	なし	
八街市	なし	
白井市	なし	
富里市	なし	
印西市	補助対象経費の額	1学校あたり8万円を限度とし、予算の範囲内において配分する

平成29年3月31日

補助事業等実績報告書

印西市長 板倉 正直 様

住所 印西市  
 事業者 氏名 印西市地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会  
 連絡先

印西市補助金等交付規則第13条の規定により、補助事業等の実施状況を次のとおり報告します。

指令年月日	平成29年 5月10日	指令番号	印西教生指令 第10号
補助事業年 度	平成29年度	補助金等の名称	印西市社会教育関係補助金
補助事業等の名称		地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業	
補助事業等	名 称	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業	
	施行場所	市内各小・中学校区及び各コミュニティセンター等	
着手年月日	平成29年4月1日	完了年月日	平成30年3月31日
交 付 決 定 額		300,000円	
補 助 事 業 等 の 経 過 及 び 内 容		別紙「事業報告書」のとおり	
添 付 書 類		1 収支決算書 2 完成写真（工事施工等に係る場合） 3 その他（事業報告書） 注 申請者が団体等の場合は、補助金の充当状況がわかる収支決算書を添付すること。	

※ 記入しきれない場合は、適宜別紙としても可

平成29年度 決算書

さわやかコミュニティ 船穂 中学校区

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
市からの補助	50,000	50,000	0	
自主財源	0	5,500	▲ 5,500	バザー出店費より
合計	50,000	55,500	▲ 5,500	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
報償費				
交通費				
食糧費	0	2,700	▲ 2,700	レク担当大学生昼食
消耗品費	37,000	38,780	▲ 1,780	バザー用品、スタッフジャンパー、用紙代等
印刷製本費	3,000	4,380	▲ 1,380	バザーポスター、駐車券、広報誌
通信費	10,000	9,640	360	はがき代、切手代
借上料				
使用料				
光熱水費				
修繕費				
合計	50,000	55,500	▲ 5,500	

差引残高の部 50,000 - 55,500 = -5,500

上記のとおり報告します。

さわやかコミュニティ 船穂 中学校区

平成30年2月15日

代表



平成29年度

さわやかコミュニティー 船穂中学校区活動報告

- 1 あいさつ運動 年間11回(8月を除く)  
4月は小中学校の入学式の翌日, 5月以降は月の最初の登校日  
(1日が土・日・祝の場合は, 翌登校日)  
中学校4/10(月), 小学校4/11(火), 5/1(月), 6/1(水), 7/3(月),  
9/1(金), 中学校10/2(月), 小学校10/3(火), 11/1(水), 12/1(金) 1/9(火),  
2/1(木), 3/1(木)
- 2 バザー
  - ・期日 10月14日(土) ※10月13日(金) 前日準備
  - ・場所 高花小学校
- 3 広報紙の発行
  - ・年間2回発行(1回目:バザーのお知らせ 2回目:バザー活動報告)
- 4 さわやかコミュニティー地域推進会議の開催日時と場所・内容
  - ① 第1回 5月19日(金) 19:00 船穂コミュニティセンター
    - ・新推進委員の紹介, 組織と活動計画の検討
  - ② 第2回 2月23日(金) 18:00 船穂コミュニティセンター
    - ・今年度の活動報告と反省
    - ・次年度の活動計画
- 5 バザー開催に向けての企画連絡会議
  - ① 7月18日(金) ○バザー実施計画について, バザーポスターの製作・配布について
  - ② 9月 4日(月) ○出店団体の確認, バザー役割分担の確認
  - ③ 10月 3日(火) ○区分け原案, 当日役割分担決定, 前日までの準備確認
  - ④ 10月13日(金) ○前日準備, バザー最終確認
  - ⑤ 11月22日(水) ○バザーについての反省会(小中3校)
- 6 その他  
船穂中学校区3校合同1000か所ミニ集会への参加  
12月8日(金) 15:00~16:20 会場:高花小学校
  - ・講演「人権について」
  - ・DVD「見上げた青い空」視聴の後, グループ討議

平成29年度 さわやかコミュニティ推進事業決算書

木刈 中学校区

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
市からの補助	50,000	50,000	0	
自主財源	0	0	0	
合計	50,000	50,000	0	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 報償費	30,000	0	30,000	
2. 旅費				
3. 消耗品費	3,000	37,542	△34,542	看板作製費, 用紙代, 文具
4. 燃料費				
5. 食糧費	7,000	8,686	△1,686	会議用お茶
6. 印刷製本費				
7. 光熱水費				
8. 賄材料費				
9. 通信運搬費	10,000	3,772	6,228	切手
10. 保険料				
11. 使用料				
12. 賃借料 ・負担金				
合計	50,000	50,000	0	

差引残高の部 50,000 - 50,000 = 0

上記のとおり報告します。

さわやかコミュニティ 木刈中学校区

平成30年3月9日

代表 \_\_\_\_\_





平成29年度第 木刈中学校区さわやかコミュニティ地域推進委員会事業報告

1 目的

生命の尊さを認識し、一人一人が思いやりの心を持ち、人と人とが生き生きと関わりあえる社会を形成するために、地域社会・家庭・学校が連携・融合したコミュニティづくりを推進する。

2 木刈中学校区さわやかコミュニティ地域推進委員会

(1) 平成29年度活動内容

①第1回会議 平成29年 6月23日(金) 13:30 木刈小学校

- 授業参観
- 平成29年度活動内容
- 情報交換

②第2回会議 平成29年 11月25日(土) 午後 木刈中学校

- 教育講演  
テーマ『元シンクロナイズドスイミング  
日本代表 荒井美帆さん』による講演
- さわコミ推進会議(ミニ集会:グループ別協議)  
テーマ『学校・地域におけるあいさつについて』

③第3回会議 平成30年 2月24日(土) 15:00 小倉台小学校

- 平成29年度活動報告
- 1年間の学校の様子(学校評価)
- あいさつ運動についての取り組み
- 平成29年度会計報告
- 来年度の活動について

(2) 委員の構成

①社会教育の関係団体

- 各校PTA会長及び役員(前会長を含む)
- 社会教育委員
- 青少年相談員(木刈学区長, 小倉台学区長)
- 小倉台図書館館長

②学識経験者及び地域住民代表

- フレンドリープラザ代表
- 自治会, 町内会長(各小学校区)
- 防犯組合代表
- 民生委員・児童委員代表
- おやじの会代表
- スクールガードリーダー

③社会福祉関係者

- 社会福祉協議会ニュータウン北支部代表(会長・副会長)

④学校関係者

- 木刈中学校・小倉台小学校・木刈小学校校長及び教頭

(3) 役員

委員長 1名 (株) 小倉台小学校父母と教職員の会会長

副委員長 2名 (株) 木刈中学校PTA会長

(株) 木刈小学校PTA会長

事務局 4

(株) 木刈中学校PTA会長



## 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	比較	説 明
市からの補助	50,000	50,000	0	
自主財源	4,883	4,883	0	
			0	
合 計	54,883	54,883	0	

## 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	比較	説 明
1. 報償費	15,000	20,000	-5,000	講演会講師謝礼
2. 旅費				
3. 消耗品費	15,000	6,763	8,237	綱引き大会賞品代
4. 燃料費				
5. 食糧費	16,683	19,920	-3,237	推進委員会議飲み物代
6. 印刷製本費				
7. 光熱水費				
8. 賄材料費				
9. 通信運搬費	8,200	8,200		切手代
10. 保険料				
11. 使用料				
12. 賃借料 ・負担金				
合 計	54,883	54,883		

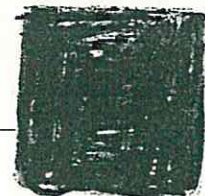
差引残高の部 54,883 - 54,883 = 0円

上記のとおり報告します。

さわやかコミュニティ 小林中学校区

平成30年3月31日

代 表



平成29年度さわやかコミュニティ小林中学校区地域推進委員会  
年間事業報告書

期 日	活 動 内 容	領 域
5月 5日(木)	小林鯉のぼり大会協力	地域交流
5月20日(土)	小林北小学校奉仕作業(除草)	地域交流
6月 3日(土)	第1回推進会議(各種団体合同連絡会) 小林公民館	連絡調整
6月 4日(日)	小林小学校奉仕作業(除草)	地域交流
7月 1日(土)	第2回推進会議(各種団体合同連絡会, 1,000か所ミニ集会) 小林公民館	連絡調整
9月 2日(土)	小林北小学校奉仕作業(除草)	地域交流
9月 2日(土)	小林中学校奉仕作業(除草)	地域交流
9月10日(土)	小林中学校体育祭参観 さわコミ杯争奪綱引き大会	地域交流
9月16日(土)	小林小学校奉仕作業(除草)	地域交流
9月30日(土)	小林小小学校, 小林北小学校運動会参観	地域交流
10月 14日(土)	第3回推進会議(各種団体合同連絡会) 小林公民館	連絡調整
11月 12日(日)	小林地区ソフトボール大会 小林中学校	地域交流
11月16日(土)	小林小学校 地域公開	地域交流
11月 9日(金)	小林中学校 地域公開	地域交流
11月 9日(土)	小林北小学校 地域公開	地域交流
3月 3日(土)	第4回推進会議(各種団体合同連絡会) 小林小学校	連絡調整
通年	あいさつ運動(さわこみ推進会議)	地域交流
通年	防犯パトロール(各PTA, 老人会, 防犯組合等)	地域交流



平成29年度 決算書

さわやかコミュニティ 西の原中学校区

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
市からの補助	50,000	50,000	0	
自主財源				
合計	50,000	50,000	0	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
報償費	10,000	20,000	▲10,000	講師謝礼
交通費				
食糧費	20,000	18,507	1,493	会議時のお茶代
消耗品費	5,000	2,905	2,095	用紙代
印刷製本費				
通信費	15,000	8,588	6,412	切手代, 葉書代
借上料				
使用料				
光熱水費				
合計	50,000	50,000	0	

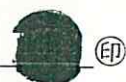
差引残高の部      50,000    -      50,000    =    0

上記のとおり報告します。

さわやかコミュニティ 西の原中学校区

平成30年 2月24日

代表



平成29年度 さわやかコミュニティ推進事業 年間事業報告書

西の原中学校区

実施日	事業名	事業内容	参加者
5月13日(土)	第1回推進会議	29年度の計画・役員について, 他	32名
6月17日(土)	第2回推進会議	さわコミパトロールについて, 他	30名
7月15日(土)	さわコミパトロール	西の原小学校区を3班でパトロール	40名
8月26日(土)	さわコミパトロール	原小学校区を3班でパトロール	51名
9月 2日(土)	第3回推進会議	オープンセミナーについて, 他	29名
12月1日(金)	オープンセミナー	「性別で見る多様性と人権」	528名 (内生徒477名)
2月24日(土)	第4回推進会議	29年度の事業報告・決算報告, 他	26名



平成29年度 さわやかコミュニティ推進事業決算書

本塾

中学校区

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
市からの補助	50,000	50,000	0	
自主財源	185	185	0	
合計	50,185	50,185	0	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 報償費	0	0	0	
2. 旅費	0	0	0	
3. 消耗品費	50,185	50,185	0	コーン, パー, 電源リール, 防塵剤, 鉛筆等
4. 燃料費	0	0	0	
5. 食糧費	0	0	0	
6. 印刷製本費	0	0	0	
7. 光熱水費	0	0	0	
8. 賄材料費	0	0	0	
9. 通信運搬費	0	0	0	
10. 保険料	0	0	0	
11. 使用料	0	0	0	
12. 賃借料 ・負担金	0	0	0	
合計	50,185	50,185	0	

差引残高の部 50,185 - 50,185 = 0円

上記のとおり報告します。

さわやかコミュニティ 本塾 中学校区

平成30年 3月 9日

代表



印

平成30年3月31日

# 年間事業報告書

印西市長 板倉 正直 様

住 所  
事業者 氏 名  
代 表  
連絡先

本埜中学校区域推進委員会

番号	年 月 日	事業等内容	支援者・対象者
1	H29.4.5,6,10	登下校指導 安全指導	本埜中、本埜一小、本埜二小の通学路 ：本埜中職員、保護者 35 名
2	H29.5.11	年間活動計画会議 (通学路危険箇所確認等)	本埜中・本埜一小・本埜二小職員
3	H29.9.1,4,5	登下校指導 安全指導	本埜中、本埜一小、本埜二小の通学路 ：本埜中職員、保護者 30 名
4	H29.9.9	安全指導 地域見回り	本埜中学校区：5 名
5	H29.10.18	三校合同ミニ集会	本埜中学校区：24 名
6	H29.11.18	学区内 危険区域確認	本埜中・本一小・本二小職員、保護者
7	H30.1.10,11,12	安全指導 登下校指導	本埜中、本埜一小、本埜二小の通学路 ：本埜中職員、保護者 35 名
8	H30.1.30 ~ 2.2	安全指導 登下校指導 危険区域確認	本埜中、本埜一小、本埜二小の通学路 ：本埜中職員
9	H30.2.13	小中連携会議	本埜中・本一小・本二小の全職員
10	H30.2.20 ~ 23	安全指導 登下校指導 危険区域確認	本埜中、本埜二小の通学路 ：本埜中職員
11	H30.3.20	小中連携会議	本埜中・本一小・本二小の職員



平成29年度 さわやかコミュニティ推進事業決算書

さわやかコミュニティ滝野中学校区

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
市からの補助	50,000	50,000	0	
自主財源				
合計	50,000	50,000	0	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 報償費				
2. 旅費				
3. 消耗品費	40,000	28,416	11,584	苗代、土代、肥料代
4. 燃料費				
5. 食糧費		2,764	△2,764	講師手土産代、茶菓代
6. 印刷製本費	7,000	12,998	△5,998	ホッチキス、テープ等
7. 光熱水費				
8. 賄材料費				
9. 通信運搬費	3,000	5,822	△2,822	切手代
10. 保険料				
11. 使用料				
12. 賃借料 ・負担金				
合計	50,000	50,000	0	

差引残高の部 50,000 - 50,000 = 0 円

上記のとおり報告します。

さわやかコミュニティ滝野中学校区

平成30年3月15日

代表



平成29年度

滝野中学校区さわやかコミュニティ地域推進委員会事業報告

1 学校美化作業

(1) 学校環境整備作業

・学校周辺環境の整備(滝野おやじの会)

適時に実施

・小中合同環境整備作業

(さわコミ参加各団体+PTA+小中学生+学校職員)

年2回 5月27日(土)、8月26日(土)

・小学校植栽作業

2月24日(土)

(2) 学校グリーン化作業

・小中学校花壇整備作業(グリーンフィンガーズ)

主に週1回 水曜日に実施

2 学びの支援事業

・講演会「スマホ・ケータイ安全教室」

講師 NTTドコモ携帯安全教室 専門講師 上島あい様  
(滝野中学校教頭担当)

参加者：滝野中職員・滝野小職員・牧の原小職員

・3校の保護者・さわコミ推進委員

期日：11月24日(金)

3 防犯活動

・小中学校のPTA校外パトロールに協働

・「ながらパトロール」の実施

4 地域広報事業

・本年度は中止

5 さわコミ推進会議

年3回 7月7日(金) 11月24日(金) 2月23日(金)

滝野中学校図書室 他



○印西市社会教育関係補助金交付要綱

平成20年3月31日告示第63号

改正

平成22年5月11日告示第135号

平成23年3月31日告示第68号

平成26年3月27日告示第56号

平成29年3月24日告示第28号

印西市社会教育関係補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 市長は、社会教育の振興を図るため、社会教育及び青少年健全育成に関する事業を行うことを主たる目的として設立された団体が行う事業（以下「補助対象事業」という。）に要する経費に対し、予算の範囲内において、印西市補助金等交付規則（昭和53年規則第6号。以下「規則」という。）及びこの要綱に基づき補助金を交付する。

(補助対象事業、経費、補助率等)

第2条 補助金の対象とする経費及び補助金の額は、別表に掲げるとおりとする。

(交付の申請)

第3条 規則第3条第2項第5号に規定する市長が認める書類は、次の書類とする。

(1) 団体規約等

(2) 会員名簿

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成20年4月1日から施行する。

(失効)

2 この告示は、平成32年3月31日限り、その効力を失う。ただし、この告示の失効前にこの告示の規定によりなされた手続その他の行為は、なお従前の例による。

附 則（平成22年5月11日告示第135号）

この告示は、公示の日から施行し、平成22年度分の予算に係る補助金から適用する。

附 則（平成23年3月31日告示第68号）

この告示は、公示の日から施行する。

附 則（平成26年3月27日告示第56号）

この告示は、公示の日から施行する。

附 則（平成29年3月24日告示第28号）

この告示は、公示の日から施行する。ただし、別表の改正規定は、平成29年

4月1日から施行する。

別表（第2条）

番号	補助対象事業	補助の目的	補助対象者	補助対象経費	補助率等
1	女性の会事業	女性の社会参加を奨励し、男女共同参画社会の推進を図る。	市内に居住する成人女性で構成し、かつ、50人以上で組織する団体	報償費、旅費消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、賄材料費、通信運搬費、保険料、	補助対象経費の70パーセント以内。ただし、1団体当たり30万円を限度とする。
2	青少年相談員連絡協議会事業	青少年相談員活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。	青少年相談員が組織する団体	使用料、賃借料及び負担金	補助対象経費の80パーセント以内。ただし、1団体当たり212万円を限度とする。
3	子ども会育成連絡協議会事業	子ども会の活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。	市内で活動している子ども会の育成者が組織する連合の団体		補助対象経費の80パーセント以内。ただし、1団体当たり51万円を限度とする。
4	P T A 連絡協議会事業	各学校の P T A 活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果	市内の小中学校ごとに保護者及び学校関係者で構成する P T A（保護者と教職員が組織する		補助対象経費の70パーセント以内。ただし、1団体当たり36万円を限度とする。



		的な推進に資する。	団体を含む。)が組織する連合の団体	
5	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業	学校、家庭及び地域が共に連携し、地域社会の発展を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。	市内の中学校区において、青少年の健全育成環境の向上を目指し、関係機関及び団体の代表者、学校関係者で組織するさわやかコミュニティ推進委員会	補助対象経費の額。ただし、1 学校区当たり 8 万円を限度とし、予算の範囲内において配分する。
6	家庭教育学級事業	家庭での教育を行う時に必要な心構え、留意点等を学習する機会を提供し、家庭教育の充実を図り、子どもたちの健全やかな成長と学級生自身の向上に資する。	市立各幼稚園及び市立各小中学校の保護者で構成する家庭教育の向上を目的とする会	補助対象経費の額。ただし、1 学校当たり（幼稚園にあっては1幼稚園当たり）8 万円を限度とし、予算の範囲内において配分する。
7	芸術文化協会事業	芸術文化の振興を図り、もって地域社会の発展に資する。	市内の文化芸術の種別ごとに総括する単位団体で構成し、かつ、文化的地位の向上と地域文化	補助対象経費の70パーセント以内。ただし、1 協会当たり 40 万円を限度とする。



			の発展に寄 与するため に組織する 協会		
--	--	--	-------------------------------	--	--